

## 参考資料

- 1 諮問文
- 2 審議経過
- 3 茨城県スポーツ振興審議会委員名簿
- 4 県政世論調査資料（平成 12 年 7 月実施より）

## 1 諮問文

### 保体諮問第1号

茨城県スポーツ振興審議会

下記のことについて、本県における体育・スポーツの総合的な振興を推進したいので、スポーツ振興法（昭和36年法律第141号）第18条第3項の規定により答申を求める。

平成11年8月23日

茨城県教育委員会教育長

## 記

### 生きがいのある生活と活力のある社会づくりを目指した生涯スポーツの在り方

#### 地域スポーツ活動の振興と学校スポーツ活動との連携について

#### 諮問理由

本県体育・スポーツの振興につきましては、昭和49年の国民体育大会の開催を契機として、県民のスポーツ振興のための指導者の育成、団体の育成、スポーツ活動の普及等、順次スポーツ環境の整備を進めてまいりました。

現在は、平成14年度全国高等学校総合体育大会、2002年ワールドカップサッカー大会の成功に向けた開催準備業務が進められております。

我が国は、現在、世界にも類のない急速な高齢化の進展等、大きな社会変化の中にあります。このような中で、生きがいのある生活を送り、明るく活力のある社会をつくるためには、幼児期から高齢期まで生涯の各時期に、さまざまな生活の場をとおり、個々に応じた心身の健康の保持増進を図ることが不可欠な時代となっております。

このような将来的展望に立ち、平成7年には、茨城県スポーツ振興審議会から「県民が活力ある生活を営む21世紀のスポーツ振興策」として答申をいただき、その実現のため「いばらき教育プラン」などにより具体的な施策を進めております。

特に、ここ数年は、「変革の時代」といわれております。地域スポーツにおいては、「スポーツクラブ人口の減少」、「クラブの衰退」、「スポーツニーズの増加、多様化」、「施設の老朽化、質的不足」が課題となっております。学校部活動においては、「部員数の減少」、「指導教員の減少と高齢化」、「多様なニーズへの対応不足」等、新たな課題が出てきており、今までのスポーツ振興施策では対応しきれない時期にきております。

本県における今後のスポーツ振興については、昨年行われた全国知的障害者スポーツ大会や平成14年度全国高等学校総合体育大会の開催を契機として、充実した施設の活用や指導者の育成、活用、スポーツクラブの育成等をとおして、障害のある人や高齢者を含むあらゆる人々のニーズに対応し、共存できる生涯スポーツ社会の実現を目指す必要があります。

以上のことから、生涯の各時期に応じたスポーツに親しむことができる具体的な条件整備の方策を樹立するため、地域スポーツ活動の振興の在り方及び学校スポーツ活動と地域スポーツ活動との連携の在り方を中心に諮問するものであります。

## 2 審議経過

名 称	日 程	審議の内容
第 1 回審議会	平成 11 年 8 月 23 日	辞令交付 ワーキング委員会編成 審議の方向の確認
第 2 回審議会	平成 11 年 11 月 24 日	ワーキング委員会による審議 「学校スポーツ活動と地域スポーツ活動との連携」ワーキング委員会 ・中・高等学校における運動部活動の方向性 ・指導者の養成と効果的な活用 「地域スポーツ活動の振興」ワーキング委員会 ・地域におけるスポーツ活動の活性化 ・スポーツ指導者の養成と効果的な活用 ・スポーツ施設の効果的な活用と今後の在り方
第 3 回審議会	平成 12 年 3 月 3 日	全体研修 ・総合型地域スポーツクラブについて ワーキング委員会による審議 「学校スポーツ活動と地域スポーツ活動との連携」ワーキング委員会 ・学校スポーツ活動を地域で支える方策 「地域スポーツ活動の振興」ワーキング委員会 ・スポーツ活動を支える組織の育成・充実 ・地域におけるスポーツクラブの育成
第 1 回専門委員会	平成 12 年 7 月 12 日	専門委員会による審議 ・答申作成計画 ・答申骨子の検討
第 4 回審議会	平成 12 年 7 月 27 日	全体会による審議 ・全員による再審議 ・答申の方向について
第 2 回専門委員会	平成 12 年 9 月 27 日	専門委員会による審議 ・答申素案作成
第 5 回審議会	平成 12 年 10 月 12 日	全体会による審議 ・答申素案審議
第 3 回専門委員会	平成 12 年 11 月 7 日	専門委員会による審議 ・答申案作成
第 6 回審議会	平成 13 年 2 月 27 日	全体会による審議 ・答申案審議
答申提出	平成 13 年 3 月 22 日	

### 3 茨城県スポーツ振興審議会委員名簿

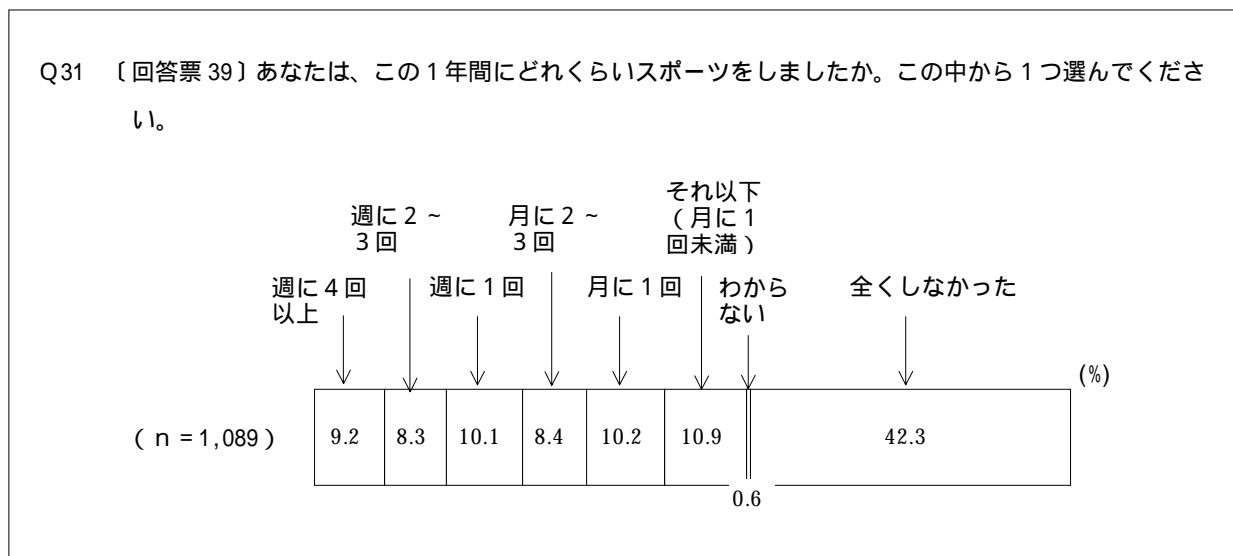
番号	氏名	所属・役職名	摘要
1	井口 裕美	県 PTA 連絡協議会(副会長, 母親委員会委員長)	専門委員
2	石川 弘容	水戸市立双葉台中学校(校長)	専門委員
3	大熊 利春	(株)住友金属工業鹿島製鉄所(総務室総務担当課長)	
4	河村 レイ子	筑波大学(助教授)	
5	北島 瑞男	茨城県立水戸第二高等学校(校長)	
6	木村 正徳	水戸市立城東小学校(校長)	(H117.27 ~ H12.6.26)
	外山 彬	水戸市立第二中学校(校長)	(H12.6.27 ~ H13.7.26)
7	木村 芳城	石岡市役所(市長)	
8	日下 裕弘	茨城大学(教授)	専門委員
9	来栖 行正	茨城県立下館第二高等学校(教諭)	
10	香田 泰子	筑波技術短期大学視覚部(講師)	専門委員
11	沢幡 富夫	(株)日立製作所水戸工場(総務部長付)	
12	高橋 幸子	保健福祉部児童福祉課(課長)	
13	高野 惣一	茨城県立水戸第三高等学校(校長)	ワーキング委員長, 専門委員
14	田中 睦啓	水戸短期大学付属高等学校(校長)	
15	半井 清夫	茨城県スポーツ少年団(常任委員)	
16	成田 好三	茨城新聞社(編集局報道本部運動部長)	専門委員
17	野田 洋平	茨城大学(教授)	委員長, 専門委員
18	橋本 恵子	茨城県体育指導委員会(女性委員会委員長)	
19	林 浩一郎	健佑会市原病院(名誉院長)	
20	桧山 孝人	茨城県立水戸第一高等学校(教諭)	
21	檜山 良子	茨城町立長岡第二小学校(教諭)	
22	皆川 悠美子	日立市立河原子中学校(校長)	専門委員
23	宮本 征勝	元鹿島アントラーズ監督	
24	村田 康博	波崎町役場(町長)	
25	安 誠	金砂郷町教育委員会(教育長)	
26	安野 茂雄	財団法人水戸市スポーツ振興協会(専務理事)	副委員長, 専門委員
27	八代 勉	筑波大学(教授)	ワーキング委員長, 専門委員
28	山口 香	武蔵大学(助教授)	
29	山口 伸樹	茨城県議会(議員)	
30	山野邊 義文	ひたちなか市教育委員会(教育長)	

任期(平成11年7月27日~平成13年7月26日)

4 県政世論調査資料（平成 12 年 7 月実施）

1. この 1 年間にしたスポーツの頻度

- 『スポーツをした』人は 6 割弱 -



この 1 年間にスポーツをどのくらいしたかを聞いたところ、「週に 4 回以上」は 9%、「週に 2 ~ 3 回」は 8%、「週に 1 回」は 10%、「月に 2 ~ 3 回」は 8%、「月に 1 回」は 10%、「それ以下 (月に 1 回未満)」は 11% で並んでおり、合わせて『スポーツをした』人は 57%、「全くしなかった」は 42% である。

- 県西で「全くしなかった」が 57% -

地域別にみると、『スポーツをした』は県北 (63%)、県南 (61%) で 6 割を超えているが、県西 (43%) では少なく、「全くしなかった」が 57% を占めている。

市郡別にみると、市郡規模が大きくなるほど『スポーツをした』は多くなり、人口 10 万以上の市では 65% を占めているが、郡部では 52% にとどまっている。

- 「週に 4 回以上」は高年齢層の方が多いが、『スポーツをした』は若年層が多い -

性別にみると、「週に 1 回」「月に 2 ~ 3 回」「月に 1 回」は男性の方が多く、『スポーツをした』は女性 (52%) より男性 (63%) に多くなっている。

性・年齢別にみると、「週に 4 回以上」という高頻度の人は男性 60 代以上、女性 50 代以上で 1 割台と多い。男女とも「週に 2 ~ 3 回」「週に 1 回」「月に 2 ~ 3 回」は 20 代に、「月に 1 回」「月に 1 回未満」は 30 代に多くなっている。『スポーツをした』は年代が下がるほど多くなる傾向にあり、男性 20 ~ 30 代では 8 割台、女性 20 代、男性 40 代では 7 割強となっている。

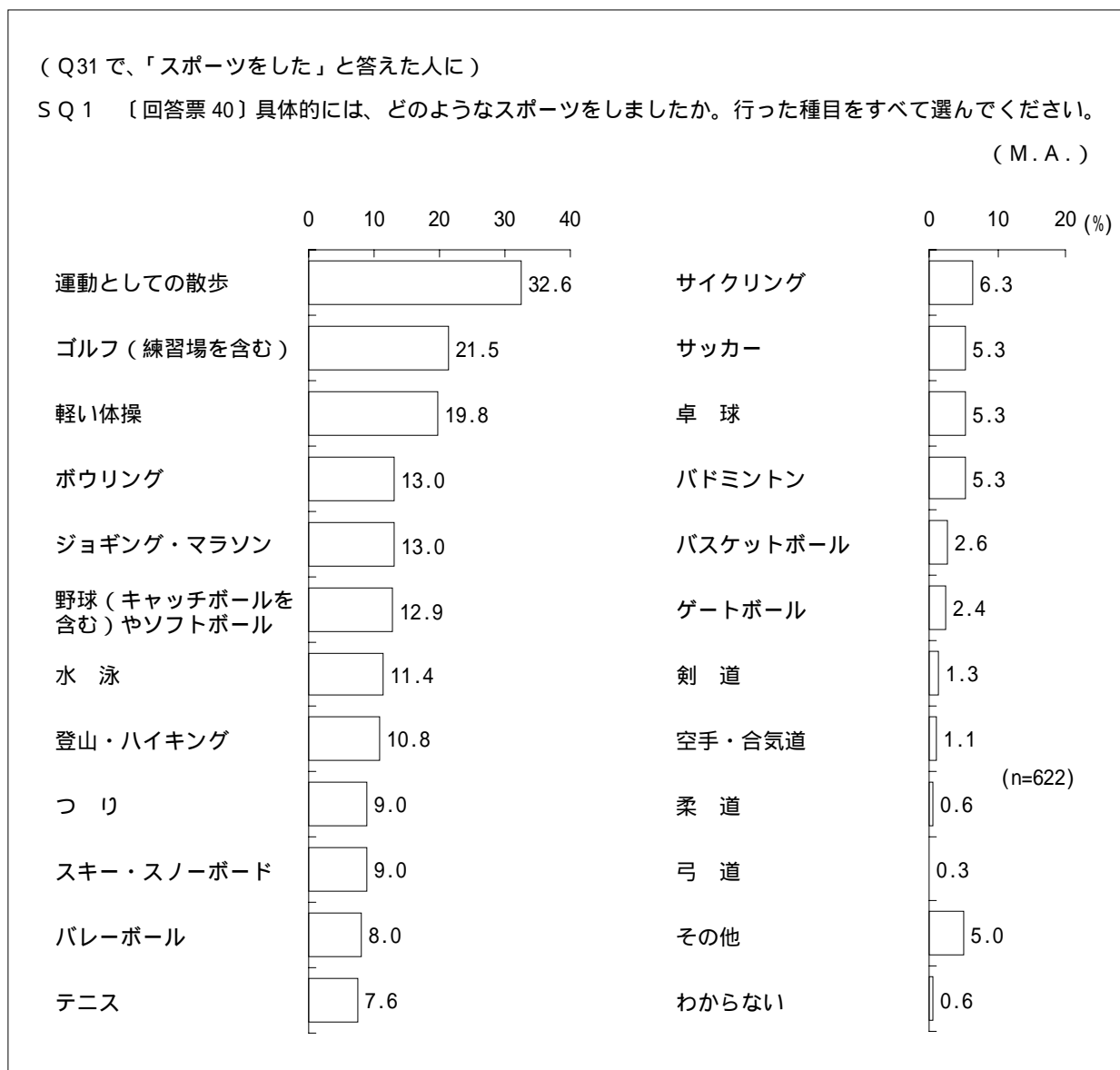
職業別にみると、「週に 4 回以上」はその他の無職、主婦 (ともに 13%) で 1 割を超えている。管理・事務・専門技術職では「週に 1 回」「月に 2 ~ 3 回」「月に 1 回」が多く、『スポーツをした』は 79% に及んでいる。「全くしなかった」は農林漁業で 75% を占めているほか、その他の無職 (55%)、主婦 (48%) でも多くなっている。

図 1 - 1 この1年間にしたスポーツの頻度（地域別、市郡別、性別、性・年齢別、職業別）

分類	n	頻度							した(計) (%)	
		週に4回以上	週に2~3回	週に1回	月に2~3回	月に1回	それ以下 (月に1回未満)	全くしなかった		
【地域別】										
総数	(1,089)	9.2	8.3	10.1	8.4	10.2	10.9	0.6	42.3	(57.1)
【市郡別】										
北	(249)	7.2	9.2	8.8	8.4	14.5	14.9	0.8	36.1	(63.1)
中央	(179)	9.5	6.7	10.6	7.3	10.1	14.5	1.1	40.2	(58.7)
鹿行	(96)	10.4	11.5	7.3	8.3	16.7	-	2.1	43.8	(56.3)
南	(353)	12.5	9.6	12.2	10.5	9.6	6.8	0.3	38.5	(61.2)
西	(212)	5.2	9.0	7.1	6.6	7.1	7.5	0.5	57.1	(42.5)
【性別】										
人口10万以上の市	(312)	8.3	9.6	14.7	8.7	11.5	12.2	0.3	34.6	(65.1)
人口5万以上の市	(216)	10.6	9.3	8.8	10.2	9.3	9.7	-	42.1	(57.9)
人口5万未満の市	(81)	6.2	11.1	6.2	9.9	9.9	9.9	1.2	45.7	(53.1)
郡	(480)	9.6	6.5	8.3	7.3	9.8	10.8	0.8	46.9	(52.3)
【性・年齢別】										
男性	(521)	8.4	9.0	12.3	10.0	12.5	10.7	0.2	36.9	(63.0)
女性	(568)	9.9	7.6	8.1	7.0	8.1	11.1	0.9	47.4	(51.8)
20~29歳	(56)	16.1	28.6	14.3	12.5	10.7	-	17.9	82.1	(82.1)
30~39歳	(58)	6.9	6.9	10.3	10.3	25.9	24.1	-	15.5	(84.5)
40~49歳	(88)	6.8	6.8	18.2	12.5	11.4	15.9	-	28.4	(71.6)
50~59歳	(130)	9.2	7.7	12.3	10.0	14.6	10.8	0.8	34.6	(64.6)
60~69歳	(125)	11.2	8.0	4.8	11.2	8.0	5.6	-	51.2	(48.8)
70歳以上	(64)	12.5	12.5	6.3	6.3	-	60.9	1.6	39.1	(39.1)
20~29歳	(65)	7.7	16.9	12.3	15.4	10.8	10.8	-	26.2	(73.8)
30~39歳	(97)	4.1	9.3	3.1	16.5	21.6	-	43.3	56.7	(56.7)
40~49歳	(123)	4.9	6.5	10.6	8.1	8.9	12.2	1.6	47.2	(51.2)
50~59歳	(123)	14.6	11.4	9.8	5.7	6.5	10.6	0.8	40.7	(58.5)
60~69歳	(92)	17.4	4.3	7.6	6.5	-	57.6	2.2	40.2	(40.2)
70歳以上	(68)	10.3	5.9	4.4	2.9	-	72.1	2.2	27.9	(27.9)
【職業別】										
農林漁業	(101)	4.0	3.0	5.9	7.9	-	75.2	2.9	23.8	(23.8)
商工サービス・自由業	(140)	7.9	10.0	8.6	11.4	10.7	12.1	-	39.3	(60.7)
管理・事務・専門技術職	(209)	7.7	10.0	17.2	13.4	17.7	13.4	0.5	20.1	(79.4)
労務職	(218)	6.9	7.3	10.1	8.7	11.5	16.1	0.9	38.5	(60.6)
主婦	(239)	12.6	7.1	8.8	5.0	6.7	11.3	0.4	48.1	(51.5)
その他の無職	(160)	13.1	8.1	6.9	8.1	6.3	0.6	55.0	1.9	(44.4)

## 2. 行ったスポーツ種目

- 「運動としての散歩」33%、「ゴルフ」22%、「軽い体操」20%が上位 -



この1年間にスポーツをしたと答えた人 (622 人) に具体的にはどのようなスポーツをしたか、種目をあげてもらったところ、「運動としての散歩」が33%で最も多く、「ゴルフ (練習場を含む)」22%、「軽い体操」20%、「ボウリング」13%、「ジョギング・マラソン」13%、「野球 (キャッチボールを含む) やソフトボール」13%、「水泳」11%、「登山・ハイキング」11%、「釣り」9%、「スキー・スノーボード」9%、「バレーボール」8%、「テニス」8%が続いている。

- 「運動としての散歩」鹿行、県北で37% -

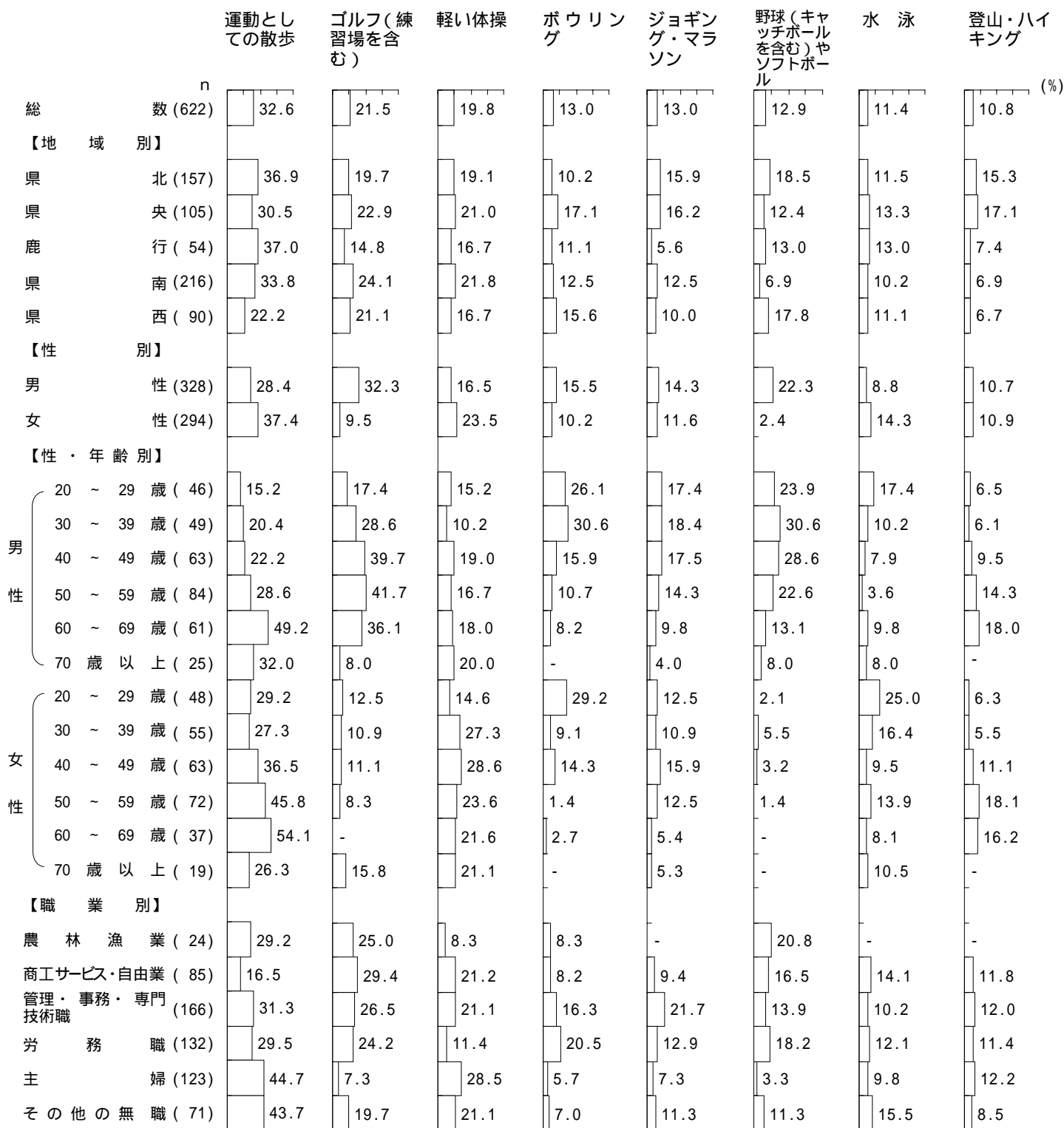
地域別にみると、「運動としての散歩」は鹿行 (37%)、県北 (37%) で比較的多く、県西 (22%) では少ない。「ゴルフ」は鹿行 (15%) で他の地域の2割前後と比べて少ない。「ボウリング」は県央 (17%) で、「野球やソフトボール」は県北 (19%)、県西 (18%) で、「登山・ハイキング」は県北 (15%)、県央 (17%) で、他の地域より多くなっている。

- 高齢層で「運動としての散歩」「登山・ハイキング」 -

性別にみると、「運動としての散歩」は男性(28%)より女性(37%)に多く、男性では「ゴルフ」(32%)が1位である。男性では「ボウリング」「野球やソフトボール」「つり」「サッカー」なども女性より多くなっている。女性は「軽い体操」「水泳」「バレーボール」などで男性を上回っている。

性・年齢別にみると、「運動としての散歩」「登山・ハイキング」は男女とも60代をピークに年代が上がるほど多くなっている。「ゴルフ」は男性40~60代で4割前後、「ボウリング」は男性20~30代、女性20代で3割前後と多い。「野球やソフトボール」は男性30代で「ボウリング」と並んで1位である。

図 2 - 1 行ったスポーツ種目 - 上位 16 位 - (地域別、性別、性・年齢別、職業別)

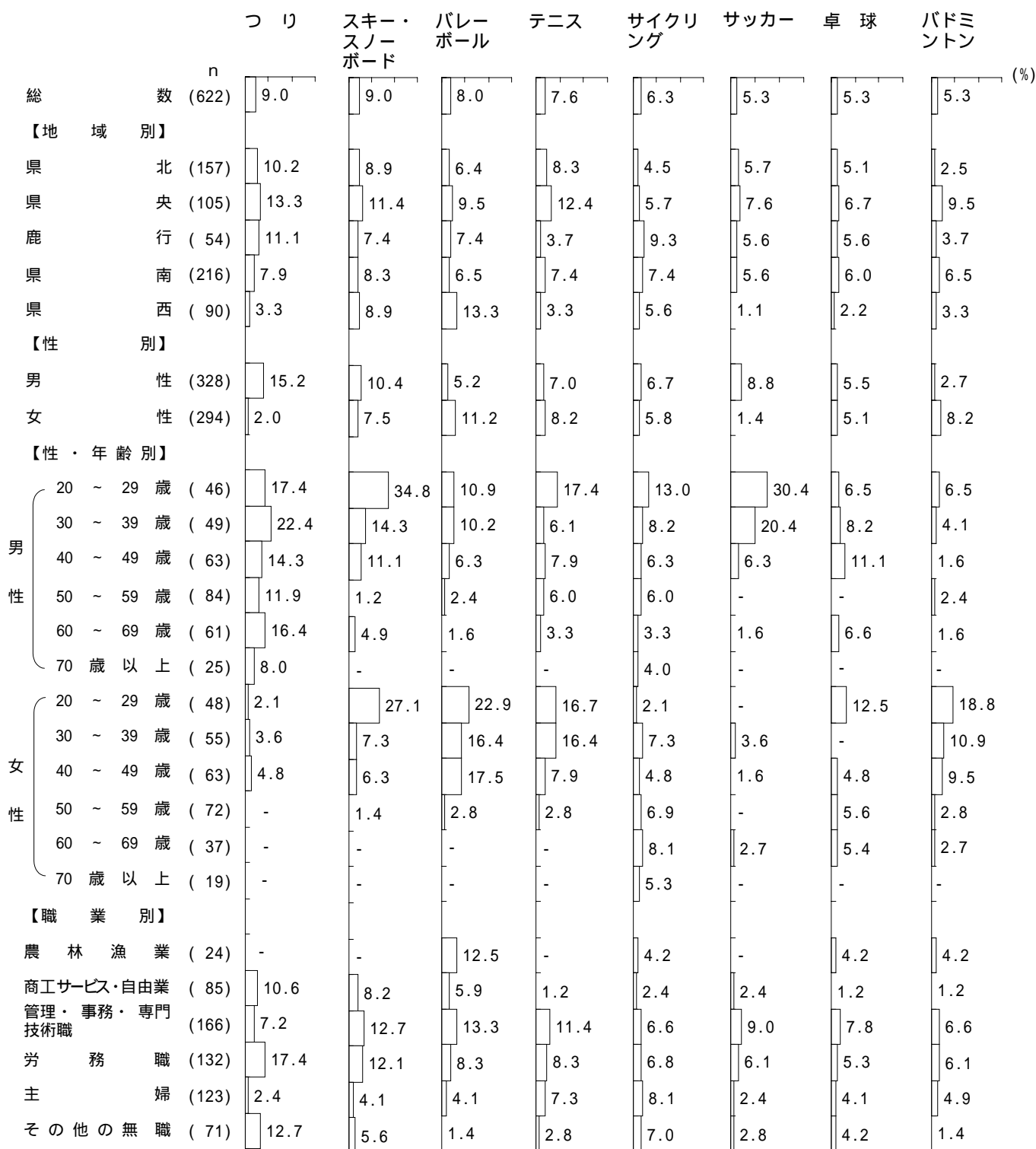


「水泳」は女性 20 代で 2 割台と多い。「スキー・スノーボード」「バレーボール」「テニス」はいずれも若年層に多く、「スキー・スノーボード」は男性 20 代(35%)で 1 位、女性 20 代(27%)で 3 位である。

「サッカー」は男性の若年層で多く、男性 20 代(30%)で 2 位である。

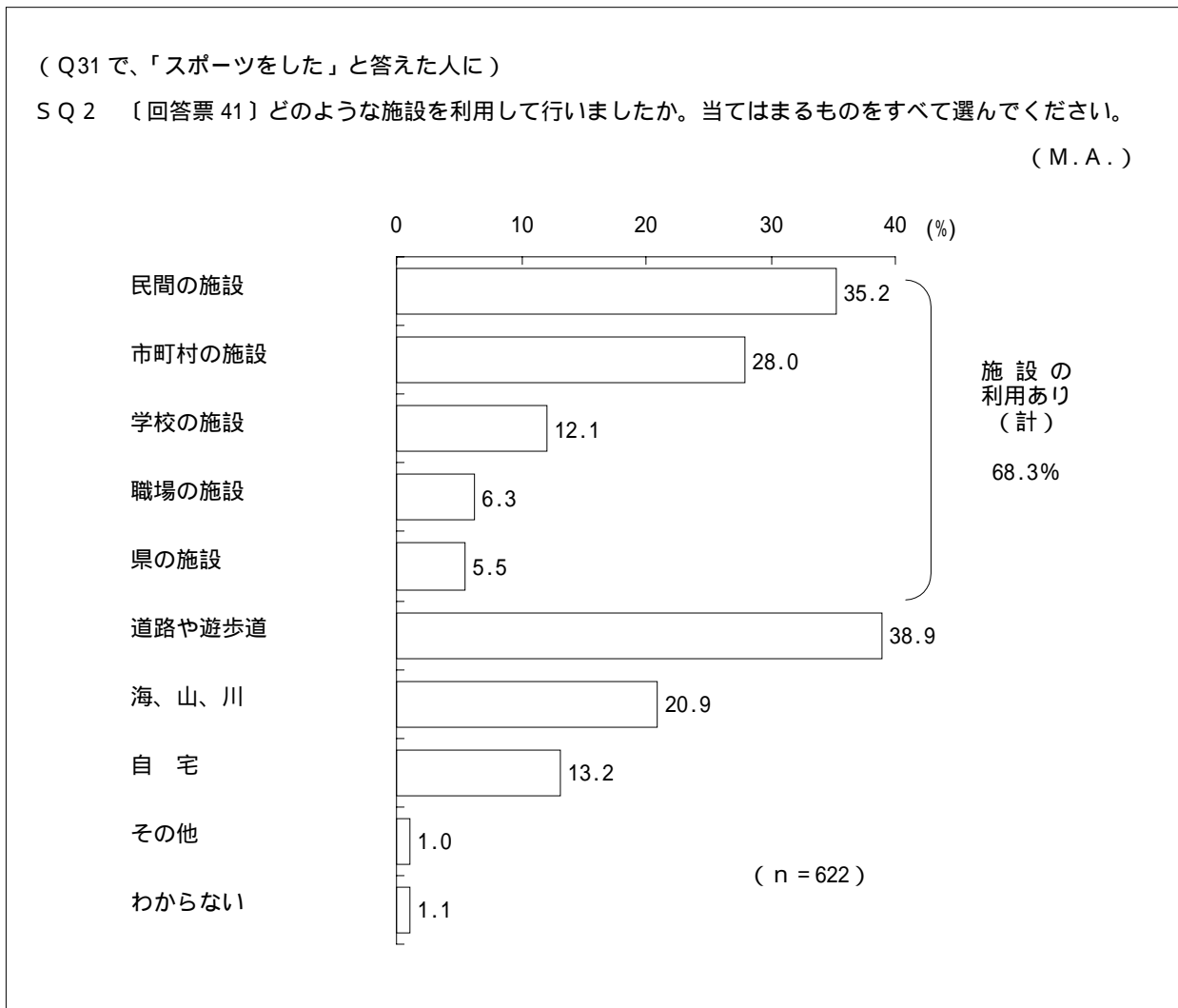
職業別にみると、主婦、その他の無職では「運動としての散歩」が 4 割を超えて他の職業より多い。「軽い体操」は主婦(29%)で、「ボウリング」は労務職、管理・事務・専門技術職で多い。「ジョギング・マラソン」は管理・事務・専門技術職(22%)で、「つり」は労務職(17%)で比較的多くなっている。

図 2 - 1 行ったスポーツ種目 - 上位 16 位 - (地域別、性別、性・年齢別、職業別)(つづき)



### 3. 利用した施設

- 「民間の施設」35%、「市町村の施設」28% -



この1年間にスポーツをしたと答えた人 ( 622 人 ) にどのような施設を利用して行ったかを聞いたところ、「民間の施設」が35%で最も多く、「市町村の施設」28%、「学校の施設」12%、「職場の施設」6%、「県の施設」6%となっており、何らかの施設を利用した『施設の利用あり』は68%となっている。その他の場所としては、「道路や遊歩道」39%が多く、「海、山、川」21%、「自宅」13%となっている。

- 県西で「市町村の施設」が1位 -

地域別にみると、「民間の施設」は県央 ( 39% ) 県南 ( 39% ) に多く、「市町村の施設」は県西 ( 40% ) で4割と1位である。「学校の施設」は鹿行 ( 24% ) 県西 ( 20% ) で多く、『施設の利用あり』は県西、県央で7割を超えている。「道路や遊歩道」は県西でのみ2割台と少なく、「海、山、川」は県北、県央で他の地域より多い。

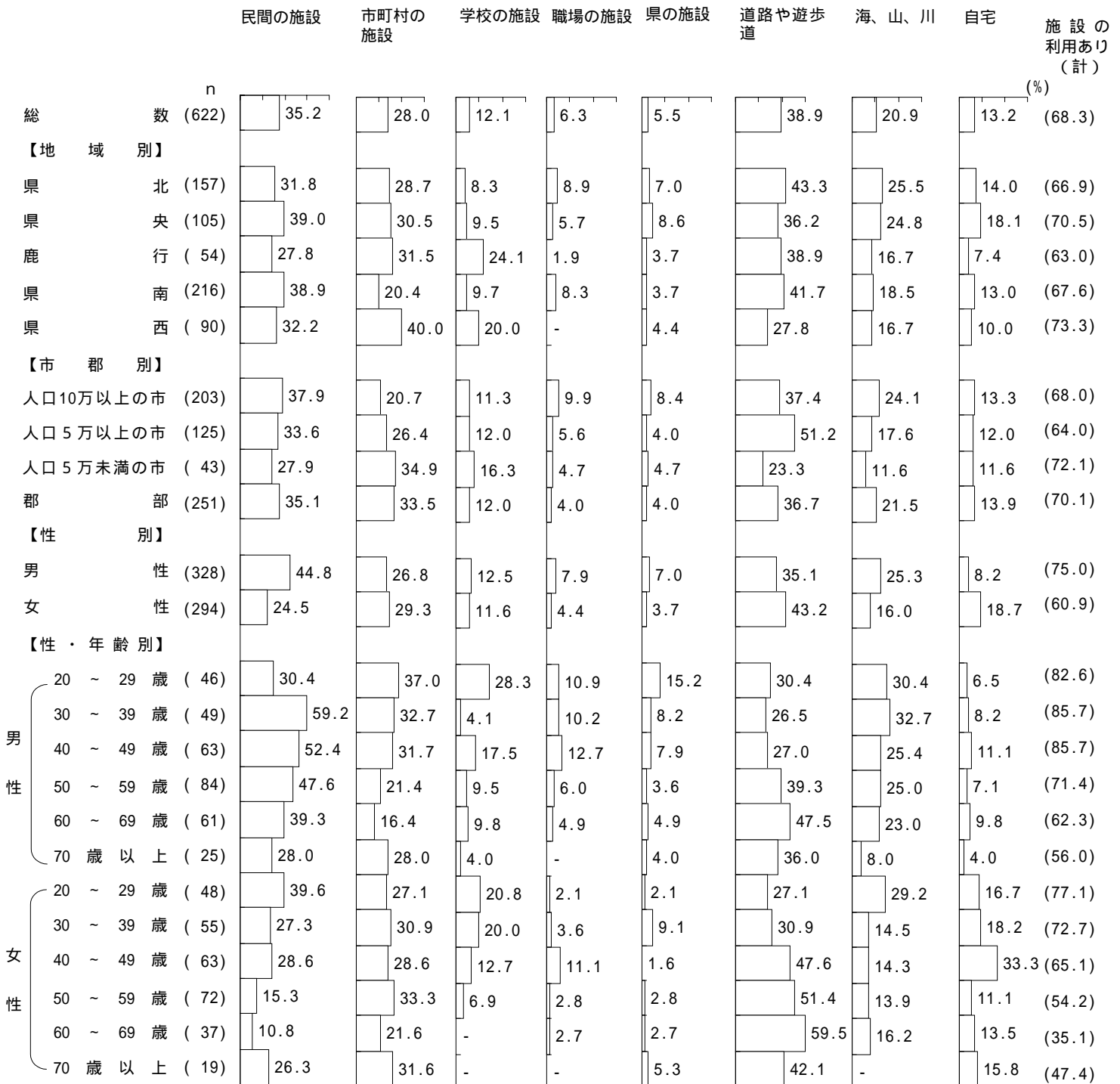
市郡別にみると、「市町村の施設」は人口5万未満の市 ( 35% ) 郡部 ( 34% ) で多く、『施設の利用あり』も人口5万未満の市、郡部で7割を超えている。「職場の施設」「県の施設」は人口10万以上の市で多い。「道路や遊歩道」は人口5万以上の市 ( 51% ) で5割を超え、「海、山、川」は人口10万以上の市 ( 24% ) と郡部 ( 22% ) で2割以上である。

- 『施設の利用あり』は男性 20～40 代で 8 割台 -

性別にみると、「民間の施設」は女性（25%）より男性（45%）に多く、『施設の利用あり』も男性の方が多くなっている。「道路や遊歩道」「自宅」は女性に「海、山、川」は男性に多くなっている。

性・年齢別にみると、「民間の施設」は男性 30～40 代で 5 割を超えている。「市町村の施設」「学校の施設」「県の施設」は男性 20 代に多い。『施設の利用あり』は男性 20～40 代で 8 割台となっているほか、女性 20 代でも 8 割弱である。「道路や遊歩道」は男女とも 60 代をピークに高齢層で多くなる傾向にある。「海、山、川」は男性 20～30 代、女性 20 代で約 3 割、「自宅」は女性 40 代で 3 割強と他の年代を上回る比率となっている。

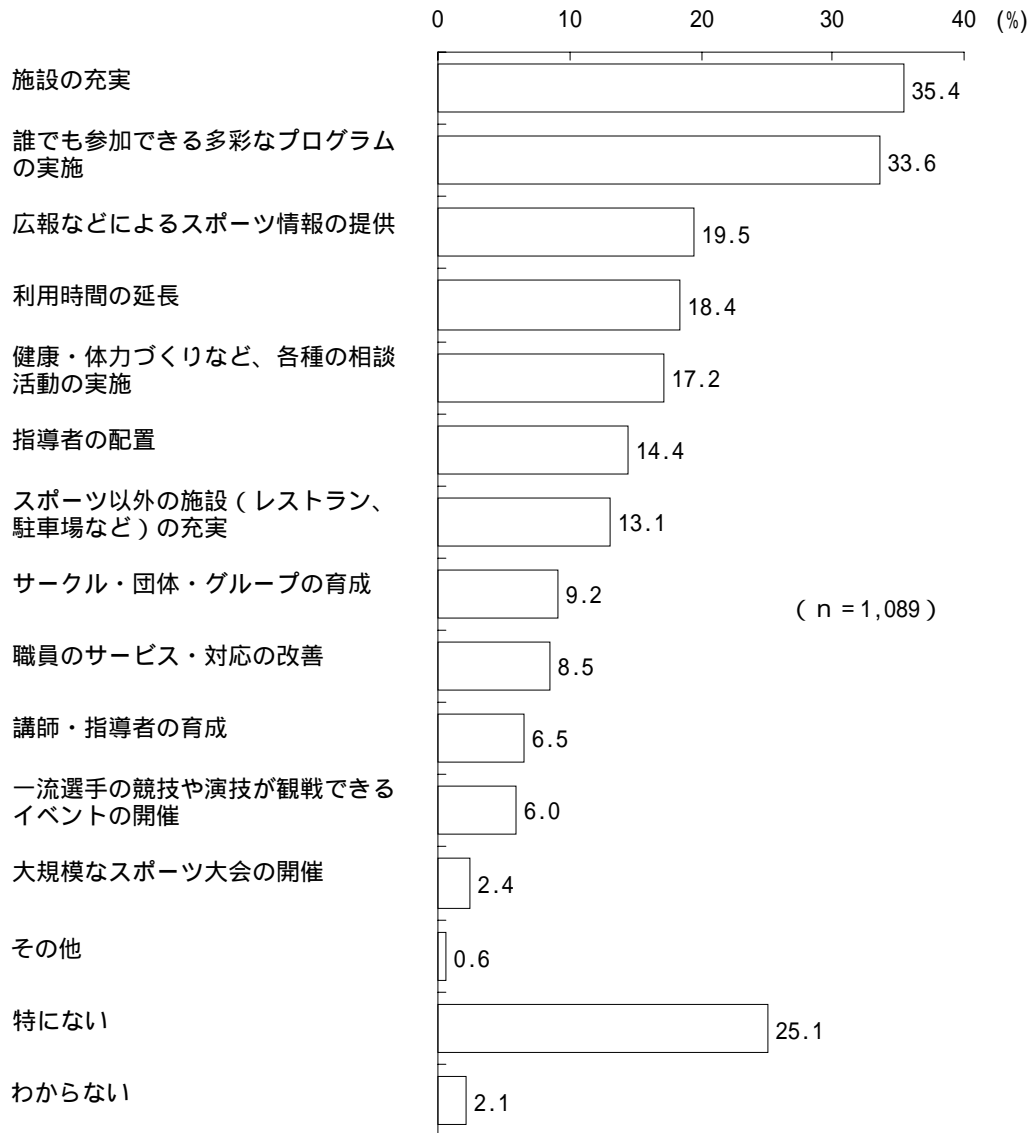
図 3 - 1 利用した施設（地域別、市郡別、性別、性・年齢別）



4. 県や県営の施設に対する要望

- 「施設の充実」35%、「誰でも参加できる多彩なプログラム」34% -

Q32 〔回答票 42〕あなたが、これから運動・スポーツを行っていくために、県や県営の体育施設にどのようなことを要望しますか。この中から3つまで選んでください。(M.A.)



県や県営の体育施設に希望することとしては、「施設の充実」が35%、「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」が34%で多く、「広報などによるスポーツ情報の提供」20%、「利用時間の延長」18%、「健康・体力づくりなど、各種の相談活動の実施」17%、「指導者の配置」14%、「スポーツ以外の施設（レストラン、駐車場など）の充実」13%などが続いている。

- 県北で「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」44% -

地域別にみると、「施設の充実」は県央（41%）、県南（38%）、県北（37%）で多いが、鹿行（20%）では少ない。「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」は県北（44%）で4割を超えて、鹿行とともに1位である。「広報などによるスポーツ情報の提供」「利用時間の延長」はいずれも県北、県央で、「スポーツ以外の施設の充実」は県央（20%）で多くなっている。

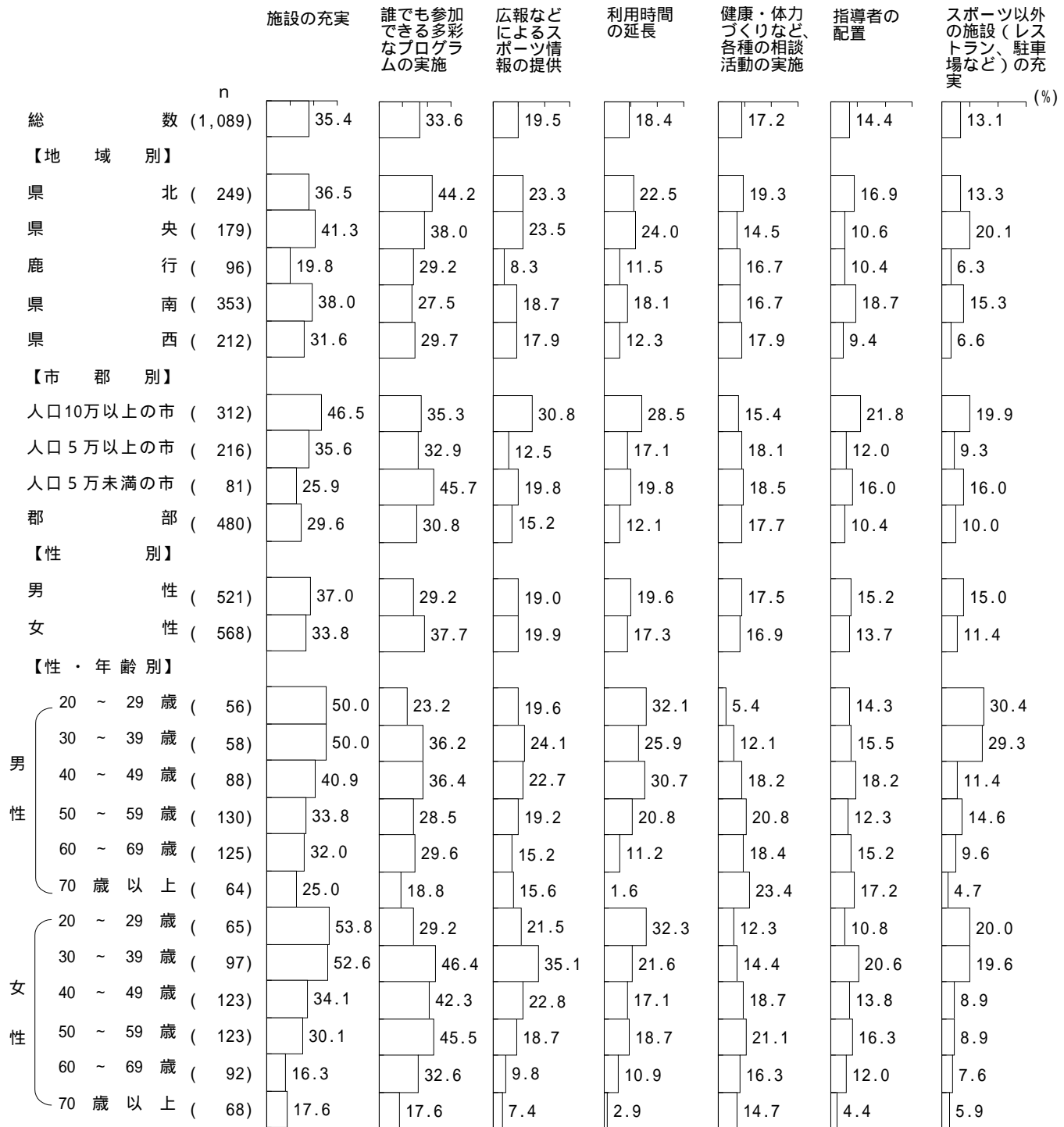
市郡別にみると、「施設の充実」は人口10万以上の市（47%）で特に多いが、人口5万未満の市や郡部で少ない。人口5万未満の市では「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」（46%）の方が圧倒的に多い。「広報などによるスポーツ情報の提供」「利用時間の延長」「指導者の配置」「スポーツ以外の施設の充実」は人口10万以上の市に多くなっている。

- 「施設の充実」は若年層で多い -

性別にみると、「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」は男性（29%）より女性（38%）に多く、「施設の充実」（34%）を上回っている。

性・年齢別にみると、「施設の充実」は若年層で多くなる傾向にあり、男女の20～30代では5割に及んでいるほか、「利用時間の延長」「スポーツ以外の施設の充実」も若い年代に多くなる傾向にある。「誰でも参加できる多彩なプログラムの実施」は女性30～50代で4割を超え、「広報などによるスポーツ情報の提供」は女性30代で35%と多い。

図 4 - 1 県や県営の施設に対する要望 - 上位 7 位 - (地域別、市郡別、性別、性・年齢別)

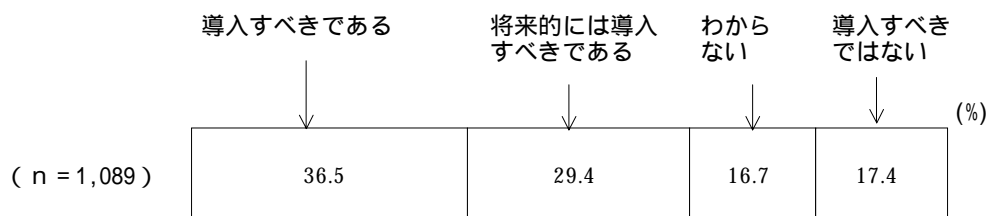


## 5. 地域のスポーツ活動における受益者負担

### - 3人に2人は『導入すべき』 -

Q33 [回答票 43] いろいろな活動において、利用者がその費用を負担する「受益者負担」という考え方がありますが、地域におけるスポーツ活動においても、この制度を導入すべきでしょうか。

受益者負担...特定の利用者の受けるサービスについて利用者がその費用を負担すること



地域におけるスポーツ活動において、受益者負担の制度を取り入れるべきかどうかを聞いたところ、「導入すべきである」は37%、「将来的には導入すべきである」は29%で、『導入すべきである』は66%と3人に2人の割合である。「導入すべきではない」は17%である。

#### - 『導入すべきである』は鹿行、県北で7割強 -

地域別にみると、『導入すべきである』は鹿行（72%）、県北（72%）で7割強と多く、県西（53%）では少ない。

市郡別にみると、『導入すべきである』は人口10万以上の市で75%に達するが、人口5万未満の市（56%）では少ない。

#### - 『導入すべきである』は男性40代で8割 -

性別にみると、『導入すべきである』は男性が女性より6ポイント多い。

性・年齢別にみると、『導入すべきである』は男性40代（80%）で8割に及ぶが、男性70歳以上、女性60代以上では少ない。男性20代では「導入すべきではない」（29%）が3割を占めている。

1年間にしたスポーツの頻度別にみると、『導入すべきである』はスポーツを全くしなかった人で55%であるのに対して、スポーツを週に4回以上行っている人では62%、それ以下の頻度で行っている人では7割台と多くなっている。

図 5 - 1 地域のスポーツ活動における受益者負担

(地域別、市郡別、性別、性・年齢別、1年間にしたスポーツの頻度別)

		n	導入すべきである	将来的には導入すべきである	わからない	導入すべきではない	導入すべきである(計)
			↓	↓	↓	↓	(%)
総	【地域別】	数 (1,089)	36.5	29.4	16.7	17.4	(65.8)
県	北	(249)	34.9	36.9	9.2	18.9	(71.9)
県	中央	(179)	39.7	27.9	14.0	18.4	(67.6)
鹿	行	(96)	37.5	34.4	17.7	10.4	(71.9)
県	南	(353)	38.8	28.0	14.7	18.4	(66.9)
県	西	(212)	31.1	21.7	30.7	16.5	(52.8)
【市郡別】	人口10万以上の市	(312)	41.0	33.7	7.7	17.6	(74.7)
	人口5万以上の市	(216)	37.0	29.6	17.6	15.7	(66.7)
	人口5万未満の市	(81)	32.1	23.5	23.5	21.0	(55.6)
郡	【性別】	部 (480)	34.0	27.5	21.0	17.5	(61.5)
男	性	(521)	41.8	27.3	14.2	16.7	(69.1)
女	性	(568)	31.5	31.3	19.0	18.1	(62.9)
【性・年齢別】	20～29歳	(56)	41.1	23.2	7.1	28.6	(64.3)
男	30～39歳	(58)	41.4	31.0	10.3	17.2	(72.4)
	40～49歳	(88)	38.6	40.9	6.8	13.6	(79.5)
	50～59歳	(130)	50.0	23.1	13.1	13.8	(73.1)
	60～69歳	(125)	41.6	23.2	16.0	19.2	(64.8)
	70歳以上	(64)	31.3	25.0	32.8	10.9	(56.3)
	20～29歳	(65)	29.2	35.4	13.8	21.5	(64.6)
女	30～39歳	(97)	27.8	43.3	9.3	19.6	(71.1)
	40～49歳	(123)	31.7	34.1	13.0	21.1	(65.9)
	50～59歳	(123)	36.6	30.9	12.2	20.3	(67.5)
	60～69歳	(92)	34.8	20.7	30.4	14.1	(55.4)
	70歳以上	(68)	25.0	20.6	45.6	8.8	(45.6)
【1年間にしたスポーツの頻度別】	した(計)	(622)	38.4	35.4	7.9	18.3	(73.8)
	週に4回以上	(100)	34.0	28.0	18.0	20.0	(62.0)
	週に2～3回	(90)	40.0	38.9	4.4	16.7	(78.9)
	週に1回	(110)	38.2	35.5	3.6	22.7	(73.6)
	月に2～3回	(92)	50.0	27.2	7.6	15.2	(77.2)
	月に1回	(111)	36.9	39.6	7.2	16.2	(76.6)
	それ以下(月に1回未満)	(119)	33.6	41.2	6.7	18.5	(74.8)
	全くしなかった	(461)	33.6	21.3	28.6	16.5	(54.9)